

インボイス制度の導入について



井上 芳弘 議員
(日本共産党)



問 令和5年10月にスタートするインボイス制度の登録の状況はどうなっていますか。

答 インボイス制度は、令和5年3月までに登録が必要です。社税務署管内では、課税事業者約3,000社のうち、今現在約3割が登録されている状況です。

問 登録をしなければ、取引の中ではじかれてしまう可能性があるとの不安の声があります。とりわけ小規模事業者にとっては非常に深刻な課題です。シルバー人材センターで働いている方

なども雇用関係がなく、いわゆる事業主扱いでわずかな売上げでも場合によっては登録をして課税の対象になるとお聞きしていますが、現場からの不安の声は上がっていませんか。

答 全国的な動きとしては日本商工会議所、全国商工団体連合会、日本税理士会連合会など、多くの業界団体からもインボイス制度の廃止、見直し、凍結などの意見が公表されています。

一方、加西商工会議所では、公認会計士によるセミナーや個別の税務相談を実施する予定と聞いています。個々には様々反対の意見等もあるかもしれませんが、目前に迫る制度開始に向けて準備をされている状況です。

問 シルバー人材センターで活動されている方が、この制

度により申請手続きをしたり課税対象になったりする中で、活動そのものが手控えにならないかと心配します。これまで免税対象であった職業で対象になってくる方も数多くあります。

関係団体が抗議すると同時に、自治体が国に対して声を上げる取組が必要ではないでしょうか。

答 売上げ1,000万円以下の免税事業者にとってはかなり厳しい状況になってくると考えられます。市民の状況も見ながら、自治体として今後対応を検討する必要があると考えています。

■その他の質問項目

- ・ 財政の状況について
- ・ 鷯野飛行場跡地周辺整備について
- ・ 加西市未来の学校構想検討委員会の答申について

目指せ！女性活躍の未来



佐伯 欣子 議員
(21国会・加西ともて育つ会)



問 女性議会について。

答 意思決定の最高機関である議会を舞台に、女性リーダー養成講座ウィメンズネット加西塾の受講生が女性議員となり、行政に対する意見や思いを発信できる場を提供するために開催しました。受講生は、住みやすい加西市にしたいという共通の思いを持って参加されました。

問 受講生の今後の活動について。

答 自分を振り返り磨き上げることで、さらなる次の課題

にチャレンジし、地域でも様々な形で活躍されると考えています。

問 受講生以外に、市役所でも女性職員の交流や、女性担当者が各区長会に説明に行く等努力されているが、女性の活躍が進まない現状がある。女性活躍を阻んでいる要因は何か。

答 男性、女性ともに慣習や性別役割分担、ジェンダー意識が残っていると考えます。地域での意思決定に関しては、男性の影響もまだ強く、アンコンシャスバイアス（無意識の偏見）も阻害要因の1つになっています。

問 講座を通して少し風穴が開いた。これはチャレンジと周りに理解を求める積極的な行動があったからで、市において今後どのように進めていくのか。

答 男女ともに研修等を通じた意識の改善や、男女に関係

ない職員配置が必要と考えます。

問 男女共同参画センターの整備計画の詳細は。

答 相談機能の充実、主催講座の開催、機関紙の発行等の拡充を考えています。

問 女性活躍を目指すための今後の取組目標について。

答 引き続き、女性リーダー養成講座を開催します。また、男女共同参画審議会の意見を伺いながら、自治会運営等についても検討していきます。

要望 防災に女性の目線を入れることは重要である。例えば市役所の担当部署に女性の正職員を配置されたい。

■その他の質問項目

- ・ 歴史遺産が現存する地域の活性化について